

施策名：豊かな自然との共生と快適な地域環境の創造

事業名	担当課・室名	ページ
生物多様性保全推進事業	自然保護推進室	1 / 3
「山の日」レガシー推進事業	自然保護推進室	1 / 3
優良竹林化・利活用推進事業	林産振興室	1 / 3
みんなで支える森林づくり推進事業	森との共生推進室	2 / 3
県営都市公園施設整備事業	公園・生活排水課	2 / 3
温泉対策事業	自然保護推進室	2 / 3
祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業	自然保護推進室	3 / 3
おおいたジオパーク推進事業	自然保護推進室	3 / 3

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-4-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
1	<b>生物多様性保全推進事業</b> (H29～) 自然保護推進室	①特定外来生物対策の推進 ・アライグマの捕獲調査（カメラ及び箱わな） ・クリハラリスの捕獲調査（カメラ及び箱わな） ・目撃情報等による外来生物の現地調査等	① 9,349 ③	<b>アライグマ捕獲従事者数</b>	目標値	130	200	—	A	
			② 4,558 ④		実績値	170	223	—		
	豊かな自然と生態系を次世代に引き継ぐとともに、生物多様性への理解を促進するため、自然環境の保全対策や特定外来生物対策の推進等を行う。	②豊かな自然環境の保全対策 ・第3次生物多様性おおいの県戦略の策定 ・ニホンカモシカの生息状況調査の実施（センサーカメラ設置による分布調査）及び普及啓発用チラシの作成等	主な活動指標と達成率		【累計：人】					
			おおいたの重要な自然共生地域の公表数	目標値	2	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針				
			[件]	実績値	1	「第3次生物多様性おおいの県戦略」をR6.3月に策定するとともに、指定希少野生動植物であるニホンカモシカの生息域の把握や、特定外来生物であるアライグマ及びクリハラリスの防除を行った。今後も、県戦略に基づき、ニホンカモシカ等の保護対策や特定外来生物対策の推進に加え、「おおいたの重要な自然共生地域」の拡大など、「大分県版ネイチャーポジティブ」の実現に向けた取組を進めていく。 （※）令和6年度の成果指標及び目標値 おおいたの重要な自然共生地域の選定数（累計） 29[地域]				
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	アライグマ防除講習会の受講者数		目標値	100					
16,389 (0)	15,655 (8,402)	[人]	実績値	53						
			達成率	53.0%						

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
2	<b>「山の日」レガシー推進事業</b> (R4～R5) 自然保護推進室	①アウトドア情報の発信 ・Webサイト「オオイトおそと時間」の運営 ・アウトドアイベントの開催（3回）	① 9,856 ③ 2,889	<b>Webサイトアクセス数（月平均）</b>	目標値	11,000	12,000		C	
			② 7,192 ④		実績値	10,152	10,031			
	第5回「山の日」記念全国大会のレガシーとして、豊かな自然環境を守り、次の世代に引き継ぐため、保全活動に取り組む団体を支援するとともに、登山等のアウトドア情報を発信する。	②阿蘇くじゅう国立公園のオーバーユース対策 ・周遊バス等を利用したオーバーユース対策を実施 春期 8日間、秋期 8日間 計16日間運行	主な活動指標と達成率		【PV】					
			Webサイト情報更新件数（月平均）	目標値	40	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針				
			[件]	実績値	28	県内のサステナブルなアウトドア活動の情報を発信するWebサイトを運営するとともに、NPO等の自然環境保全活動を支援した。しかし、アウトドアがオフシーズンの冬季にWebサイトアクセス数が伸び悩んだため、夏季のサイト更新回数を増やし、アクセス数の増加を図る。				
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	③自然環境保全活動の支援 希少野生動植物等の保全活動や特定外来生物の防除活動等を支援 <補助事業内容> ニホンカモシカ保護、クリハラリス生息調査等 <補助団体数> 6団体		目標値						
20,004 (0)	19,966 (0)		実績値							
			達成率							

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
3	<b>優良竹林化・利活用推進事業</b> (R3～) 林産振興室	①伐竹整備に要する経費の補助 竹材・タケノコ生産を目的とした荒廃竹林の整備（伐竹、片付け、チップ化など）に対し助成 ・整備箇所数：9箇所 ・整備面積：2.85ha ・補助率 3/4	① 3,393 ③	<b>整備竹林の利用率</b>	目標値	100.0	100.0	100.0	A	
			② 114 ④		実績値	100.0	100.0	—		
	県士の保全及び竹資源の有効活用を図るため、管理放棄された荒廃竹林での竹林整備の取組を支援し、竹材・タケノコ生産地として持続的管理が見込める竹林の再生、竹チップ・竹炭等の利活用を推進する。	②管理用簡易作業路開設に要する経費の補助 竹林の持続的管理を行うため、林内作業車が安全に運行できる幅員2m以上の路網開設に対し助成 ・簡易作業路開設 285m ・管理竹林面 0.79ha ・補助率（定額） 県400円/㎡、市100円/㎡	主な活動指標と達成率		【%】					
			生産竹林整備面積	目標値	4.00	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針				
			[ha]	実績値	2.85	竹材・タケノコ生産地として持続的管理が見込まれる荒廃竹林の再生を実施する団体等に対し、伐竹整備及び管理用簡易作業路開設の補助を実施した。				
予算額 (うち翌年度繰越額)	決算額 (うち国庫支出金)	達成率		71.3%						
4,230 (0)	3,507 (0)		目標値							
			実績値							
			達成率							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-4-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
4	<b>みんなで支える森林づくり推進事業</b> (H18～) 森との共生推進室 大分県森林環境税を活用した森林づくりを着実に進めるため、外部委員による県森林環境税活用事業の検証を行うことで、税の適正な運営・管理を確保しつつ、県民総参加の森林づくりを推進するとともに、森林ボランティア活動を行う県民への支援や県森林環境税の広報を実施する。	①次代につながる森づくり大会「森フェス」の開催 全国育樹祭のレガシーとして開催趣旨を引継ぐため、次代を担う子ども達を主体とした森林・林業教育体験活動イベントを開催 ②森林づくりボランティア支援事業 ・森林づくりボランティア支援センター運営支援 ・ボランティア活動支援 ③森林づくり提案事業 県民自ら企画し取り組む、森林づくり活動や森林・環境教育活動に対する助成：7団体 ④大分県森林環境税の広報 県森林環境税の取組への県民の理解を深めるため、HPや広報資材等により情報を発信	① 6,827 ③ 1,632	<b>森林づくりボランティア参加者数</b> [人]	目標値	8,500	8,500	8,500	B
			② 3,193 ④ 977		実績値	7,870	8,086	—	
			主な活動指標と達成率		達成率	92.6%	95.1%	—	
			予算額 (うち翌年度繰越額) 15,747 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 14,028 (0)		森林づくり委員会開催回数 [回]	目標値 4 実績値 3 達成率 75.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大分県森林環境税を活用して、森林ボランティア団体に対して活動支援を行うことで、県民総参加の森林づくりの意識醸成を図った。 令和6年度は、引き続き次代につながる森林づくりの意識を啓発するため、子どもたちを対象とした森林・林業体験活動イベントを開催するとともに、県民・法人等の森林づくりに対する意識調査を実施し、県民の要望を反映した県民総参加の森林づくりを推進する。		

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																					
5	<b>県営都市公園施設整備事業</b> (S63～) 公園・生活排水課 県営都市公園利用者の安全性、快適性の向上を図るため、だれもが利用しやすい施設整備を実施する。また、ライフサイクルコスト削減等を目的に策定した「公園施設長寿命化計画」に基づき、更新時期を迎えた公園施設の計画的な更新を実施する。	①(公) 県営都市公園長寿命化等対策事業 大分スポーツ公園：テニスコート舗装更新等 大洲総合運動公園：テニスコート車いす駐車場設置等 ハーモニーパーク：実証展示林内園路丸太階段・丸太橋更新 ②県営都市公園施設整備事業 大分スポーツ公園：総合競技場芝補植等 高尾山自然公園：駐車場舗装補修等 ハーモニーパーク：深井戸ポンプ更新等	県営都市公園の施設更新や維持補修を行い、安心・安全で快適な都市空間を県民に提供した。 引き続き、老朽化した施設の計画的な更新を行うとともに、適切な維持補修を実施することで、県民にとって安全・快適で身近に親しめる、レクリエーションや自然とのふれあいの場となる空間整備を行う。																					
			<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指標</th> <th>進捗状況</th> <th>令和4年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">施設利用者数 [千人]</td> <td>目標値</td> <td>1,908</td> <td>1,923</td> <td>1,777</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1,571</td> <td>1,801</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>進捗率</td> <td>82.4%</td> <td>93.6%</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>				目標指標	進捗状況	令和4年度	令和5年度	令和6年度	施設利用者数 [千人]	目標値	1,908	1,923	1,777	実績値	1,571	1,801	-	進捗率	82.4%	93.6%	-
			目標指標	進捗状況	令和4年度	令和5年度	令和6年度																	
			施設利用者数 [千人]	目標値	1,908	1,923	1,777																	
実績値	1,571	1,801		-																				
進捗率	82.4%	93.6%		-																				
予算額 (うち翌年度繰越額) 632,582 (109,396) 決算額 (うち国庫支出金) 523,186 (240,909)																								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針																							
6	<b>温泉対策事業</b> (～) 自然保護推進室 「おんせん県おおいた」の重要な資源である温泉資源の保護及び適正利用を図り、継続的にモニタリング等を実施する。	①温泉掘削等許可申請に係る現地調査等 ②環境審議会温泉部会の開催（年6回定期開催） ③温泉利用の指導監視 ④大分県温泉調査研究会（県と12の温泉所在地市町村からの負担金で運営） ⑤温泉資源監視基礎調査 ⑥会計年度任用職員報酬等	温泉法に基づく掘削や動力装置の許可（令和5年度許可件数：掘削及び増掘許可31件（うち地熱発電1件、温泉熱発電2件）、動力装置許可21件）を行うとともに、地熱発電関連の掘削では地熱関係運用指針による指導を行った。 温泉資源の現状把握を行うため、34地点で成分分析等のモニタリング調査を実施した。大分県温泉監視調査委員会では、新たに知見のある委員を2名委嘱し、調査結果の検討を行った。 今後も、温泉資源の保護及び適正利用のため、適切な規制・指導等を実施する。																							
			※国の統計資料を用いて「源泉数の全国順位」の実績値を算出しているが、統計資料は1年遅れて公表されるため、令和5年度欄には令和4年度の目標値及び実績値を記載し、評価している。																							
			予算額 (うち翌年度繰越額) 14,134 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 13,813 (0)		<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標指数</th> <th>達成度</th> <th>R4年度</th> <th>R5年度</th> <th>R6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">源泉数の全国順位 【位】</td> <td>目標値</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>1</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>進捗率</td> <td>100%</td> <td>100%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				目標指数	達成度	R4年度	R5年度	R6年度	源泉数の全国順位 【位】	目標値	1	1	1	実績値	1	1		進捗率	100%	100%	
			目標指数	達成度	R4年度	R5年度	R6年度																			
源泉数の全国順位 【位】	目標値	1	1	1																						
	実績値	1	1																							
	進捗率	100%	100%																							

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-4-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価			
7	<b>祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進事業</b> （H26～） 自然保護推進室 ユネスコエコパークに登録されている祖母・傾・大崩地域の環境保全及び自然と共生した地域振興を図るため、宮崎県や関係市町と連携し魅力発信等を行う。 予算額（うち翌年度繰越額） 11,823 (0) 決算額（うち国庫支出金） 11,682 (1,000)	①受入環境整備の支援 自然に触れる機会の創出や利便性向上につながる宿泊・交流施設などの環境整備、景観保全の取組等の支援 ②祖母・傾・大崩ユネスコエコパーク推進協議会負担金 ③大分県ユネスコエコパークオフィシャルアーティストの活用等による情報発信 民俗芸能「神楽」とDRUM TAOとのコラボ演奏や福岡市での登山イベントへの出展	①	4,054	③	2,310	<b>普及啓発イベント・教育体験活動等参加者数</b> [人]	目標値	300	<b>300</b>	950	A	
			②	3,000	④			実績値	764	<b>959</b>	—		
			主な活動指標と達成率		達成率	254.7%		<b>319.7%</b>	—				
					普及啓発イベント・教育体験活動等での情報発信	目標値	8	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 ユネスコエコパークの認知度向上のため、オフィシャルアーティストDRUM TAOを活用した情報発信を行うとともに、県内エリア3市（佐伯市、竹田市、豊後大野市）による観光施設の改修など受入環境の整備を支援した。 今後は、自然の持続的な利用に関する大学との連携や農林産物等のブランド認証に取り組むとともに、引き続き受入環境の整備を支援し、認知度向上及び誘客拡大を図る。					
					[回]	実績値	12						
		[回]	達成率	150.0%									
			目標値										
			実績値										
			達成率										

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額		成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価			
8	<b>おおいたジオパーク推進事業</b> （H24～） 自然保護推進室 姫島村及び豊後大野市のジオパーク活動を持続可能なものとするため、ジオパークの魅力を県内外に発信するとともに、両地域が行う受入体制の整備等を支援する。 予算額（うち翌年度繰越額） 11,537 (0) 決算額（うち国庫支出金） 9,999 (0)	①ジオパーク活動の質向上のための支援 ・再認定審査時の指摘事項への対応 ・学術研究・普及啓発の推進、ガイド・子ども交流事業の実施 ・案内看板、拠点施設、受入体制の整備等 ②ジオパークの情報発信等 ・認定10周年記念シンポジウム及びワークショップの開催 ・O-Laboでの体験科学講座の実施	①	6,231	③		<b>ジオガイドの活動回数</b> [回]	目標値	100	<b>100</b>	150	A	
			②	3,496	④			実績値	128	<b>150</b>	—		
			主な活動指標と達成率		達成率	128.0%		<b>150.0%</b>	—				
					ジオガイド養成講座開催回数	目標値	20	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 他県からのツアー客の増加により、ジオガイドの活動回数は目標を達成した。 今後もワークショップやシンポジウム等の開催によりジオパークの普及啓発に取り組むとともに、両地域の受入体制の支援に努め、さらなる認知度向上及び誘客拡大を図る。					
					[回]	実績値	14						
		[回]	達成率	70.0%									
		ジオシンポジウム等普及交流の開催回数	目標値	3									
			実績値	4									
			達成率	133.3%									